

令和6年度習志野市災害医療対策本部及び応急救護所訓練 反省結果

できた：○ できなかった：× どちらでもない：△

災害拠点病院・救急告示病院

1. 設営について

目標	済生会 習志野	習志野 第一	津田沼 中央 総合	谷津 保健	追記
・無線機、プリンター、タブレット、 アンテナの正しい接続・操作ができた	○	○	○	○	
・設営に要した時間は、どのぐらい でしたか（分）	5	5	8	5	
・設営には、何人必要ですか（人）	1	2	3	1	
・設営可能な人員は何人いますか （人）	2	2	4	2	

2. 無線について

目標	済生会 習志野	習志野 第一	津田沼 中央 総合	谷津 保健	追記
・音声での通信ができた （受信・送信共に）	○	○	○	○	
・画像電送ができた （受信・送信共に）	○	○	○		【津田中】画像伝送はタブレットのアプリの再起動が必要だった。 【谷津保】画像伝送なし
・印刷ができた	○	○	○	○	

3. 情報の整理について

目標	済生会 習志野	習志野 第一	津田沼 中央 総合	谷津 保健	追記
・無線で得られる情報をホワイトボードや紙面等で整理できた	○	○	○	○	
・適宜、情報の確認を行い、要請の 回答もれがないか確認できた。	○	○	×	○	【津田中】ホワイトボードの記載係を決めていなかった。
・傷病者搬送依頼の流れを確認できた	○	○	○	○	

4. EMIS について

目標	済生会 習志野	習志野 第一	津田沼 中央 総合	谷津 保健	追記
・病院の被災想定を踏まえ、EMIS（緊急時入力・詳細情報）を入力できた	○	○	○	○	【済生会】画像伝送による代行入力依頼 【津田中】訓練中、医療本部から当院の EMIS 入力を確認出来なかった。
・ EMIS を用いて他医療機関の被災状況を確認することができた	△	△	×	○	【済生会】今回は敢えて EMIS が使用できないという設定で行った。 【津田中】職員が確認したが、（他院の状況を）みることができなかった。
・ 院内で EMIS 入力が可能な人員は 何人いますか （人）	4	5	3	5	

5. その他、ご意見等 （次年度の訓練に向けてご意見 等）

済生会習志野病院
・ 通信発信者が多く、伝えたいタイミングで発信できなかった。 ・ 当初、ブラインドがアンテナに接触しており、画像伝送に影響がでてしまった。
習志野第一病院
・ 本部との交信（EMIS 等の入力完了確認）に関して、回答がなかなか取れなかった。他医療機関・拠点との交信が混信していた印象だった。 ・ 本部と対 4 病院・対拠点でそれぞれ周波数帯を用いた通信が必要ではないか。
津田沼中央総合病院
・ 画像伝送では、送信日時の記載がされていないことが気になった。 ・ 救護所からの搬送方法については、救護所で決めて、人員や車の手配ができないところを本部に依頼する形式が良いのではと思った。 ・ EMIS 代行入力用紙をあらかじめ A5 用紙で準備していないと、スキャナーで画像読み込みをして画像送信ができないと気付いた。そのため印刷して準備するようにした。
谷津保健病院
・ 今回の訓練はミッションが多く、今回の人数（5 名）程度は必要である。 ・ EMIS 用の機材や他の防災道具の収納場所の周知が必要。 ・ 今回訓練場所のインターネットが繋がらずポケット WIFI を使用した。 ・ 1 階での本部設置を行った場合の動線を検討する必要がある。 ・ 各部署の情報収集の訓練を追加する等訓練内容の検討。 ・ EMIS の画面をノート PC から大きな画面に表示したことで情報の共有がしやすかった。 ・ クロノロジー（災害時等の状況や活動の内容を時系列に沿って記録・整理した情報やその手法）を体験できた。
検討事項
・ 無線の報告待ち等は病院・応急救護所の各会場生じている。医療本部では、有事の際 4 か所の病院、4 か所の応急救護所からの報告・要請を 1 か所の医療本部で受けることとなる。無線回線の増設の意見は医療本部・応急救護所から出ているが、増設することにより混乱が生じることが想定される。そのため、無線で伝える内容の精査・優先順位を検討する必要がある。

